

学力向上に効果のある取組

豊後大野市立緒方小学校

⑧各教科等の学習過程を踏まえたICTの活用

取組の具体①

⑧各教科等の学習過程を踏まえたICTの活用

- ・学習に主体的に取り組み、自分の考えをもつ工夫
～教科授業だけでなく特別活動や学校行事等でもタブレットを活用する場を設定し、タブレット活用の日常化を図ることで、児童が自分たちで活用場面や方法を考えるようになり、活用がより広がっている。
- ・児童が自分の考えを伝え合い、学びを深めていく場での効果的な活用
～ロイロノートを使って児童同士の対話や意見交流、グループでの発表などを通して考えを広げ、深める場を設定する。伝えたいことを分かりやすく発表するために、図やグラフ写真などを効果的に使ったテキストを作れるようになっている。
- ・学習を振り返り、自分の課題を見つけ個別の学習に活かす取組
～算数では単元の終わりに全校で揃えた振り返りシートを使って振り返りを行った。自分の学びをまとめ、そこで分かった課題について自主学習に活用して学びを広げるようにした。
- ～タブレットを持ち帰り、スマイルネクストを使っての個別の学習や反復練習などに活用した。



取組の具体②

⑩その他(豊かな読書活動の推進)

- ・読み聞かせ
～地域のボランティアの方、図書委員会、ペア読書、保育園児との幼小交流など、多くの機会読み聞かせを行った。読み聞かせる児童は早い時期から選書や練習をし、相手に情景が伝わる読み方ができていた。
- ・読書月間
～図書委員会が楽しい企画を考え、学期に1回、読書に親しめるような場づくりを計画、実施した。
- ・「読書の日」
～毎月第2・4水曜日は、読書をしてその感想などをカードに書くことが宿題。廊下に掲示することで児童間交流もできている。
- ・読書環境
～エントランスホールに新しい本やおすすめの本などを展示し、興味のある児童がよく手に取って読む姿がみられる。

